

令和7年度 第1回役員会資料 (防犯防災部)

2・令和7年度の防犯防災部の活動方針について

有事(大規模災害発生時)

防犯防災部の部員は各所属町自治会の防災活動、避難所運営委員会などの対応を行い、ふるさと協議会の防犯防災部とし参集しての活動は一切行いません。

平時(日常生活時)

防犯防災部員は増尾地域(世帯約6,500世帯、人口約21,000人)の地域防犯防災力の向上の為に次の4つを骨子とした事業を行う。

- ①避難所運営委員会に対する課題解決に向けての行政との調整、運営ノウハウの共有
- ②町自治会に対する課題解決に向けての行政との調整、防災活動ノウハウの共有
- ③防犯防災部員に対する防災の意識・知識向上を図るための事業
- ④地域住民に対する防災力向上啓発事業

事業の遂行にあたり町自治会長さまのご協力宜しくお願いいたします

3・令和7年度の事業計画について

総 会 資 料	事業名	実施予定日	対象者
	避難所運営委員会と行政との防災意見交換会	7月12日(土)	避難所運営委委員
	町自治会と行政との防災意見交換会	9月6日(土)	町自治会長
	防災パネル展 ※準備10月24日(金)午後	10月25日(土)～26日(日)	部員及び地域住民
	防犯防災部勉強会	11月8日(土)	部員及び地域住民
	年末防犯パトロール	12月14日(日)	部員及び地域住民
	防犯グッズ(防犯チョキ、のぼり旗などの配布事業)	12月13日(土)	町自治会長
	避難所の備蓄強化 *各避難所へ1万円相当の備品配布	3月	避難所運営委委員

4・避難所運営委員会と行政との意見交換会

日時:令和7年7月12日(土) 午後3時～4時30分

場所:増尾近隣センター 会議室A

対象者:各避難所開設運営委員会委員、各避難所施設長、柏市防災関連部署
各避難所運営委員長及び施設長への会議開催は別途作成して案内致します

4-1 ・柏市が求める避難所開設運営委員会の役割

「柏市地域防災計画」による説明

4-2 ・柏市が令和7年度に実施予定の防災設備強化の施策

マンホールトイレ・手動ポンプ井戸・ガソリン給油ステーションなど

4-3 ・令和7年度の避難所への備蓄品拡充の予定

令和6年度は女性生理用品・液体ミルク、離乳食・ペット用の初動品などを避難所に配備

令和7年度の予定

避難所運営委員会への備蓄用品の説明及び避難所開設時の運営方法

今後の拡充予定とその運用についての協議

4-4 ・避難所に設置されている防災倉庫の運用

令和6年度に柏市と増尾地域ふるさと協議会で倉庫利用についての覚書を交わし、

5箇所の避難所で避難所運営委員会の備品が保管出来るようになりました。

4-5 ・避難所運営委員会の活動の課題点の協議など

4-6 ・令和7年度の各避難所運営委員会の活動計画

避難所の体制(ご参考)

避難所名	避難する町自治会など
柏市指定増尾西小学校避難所 (増尾西小学校避難所運営委員会) 委員長 塚本平二様(松野台自治会)	木戸前町会 松野台自治会 増尾町会(一部) 加賀町会(一部) * 柏楽園町会 * 三愛町会 * 逆井北町会 * 逆井町会(一部)
柏市指定土小学校避難所 (土小学校避難所運営委員会) 委員長 平川伸一様(増尾町会)	増尾町会(一部) 増尾東映自治会 増尾東映第二自治会 南ヶ丘自治会 白鷺町会 増尾日立自治会 あざみ町会
柏市指定土中学校避難所 (土中学校避難所運営委員会) 委員長 安東 勇様(東武なかはら団地自治会)	東武なかはら団地自治会 増尾町会(一部)
柏市指定柏南高校避難所 (柏南高校避難所運営委員会) 委員長 金子正寿様(新柏三丁目自治会)	第一住宅増尾団地自治会 新柏二丁目第一自治会 新柏三丁目自治会
柏市指定中原中学校避難所/中原小学校避難所 (中原小・中学校避難所運営委員会) 委員長 正木秀明様(サンパセオ新柏)	サンパセオ新柏管理組合 サンパセオアネックス互助会 新柏二丁目第二自治会 加賀町会(一部) 名戸ヶ谷町会(一部) * 新柏住宅自治会 * 東豊住町会

(注) *印は増尾ふる協以外の他のふる協所属の町自治会

5・令和7年度から令和8年度にかけての新しい取組

防災に対する女性の参画を推進するため
 防災女子ワーキンググループを発足させたいと思っています。
 立上げ案は別紙を参照して下さい。

以上

防災女子ワーキンググループ「カフェde女子防災」＜仮称＞の立上げ案

令和7年度は発足準備期間とし令和8年度に発足させる

目的

- ① 防災への女性参加を促す
- ② 避難所運営に女性目線を強化する
- ③ 女性目線に立った考えを避難所運営、防犯防災部、柏市防災安全課へ意見具申する
- ④ 女性目線の楽しい防災イベントを企画する

現在の課題

- ① 避難所運営及び防災活動が男性主体となりがちである
自主防災組織、避難所運営委員会、ふる協防犯防災部に於いても町自治会の入選の問題もあり女性の参加が少なく女性ならではの女性目線に立った意見の発言がしづらく収集が難しい
避難所に於ける避難生活は、日常の生活の主体である女性目線の必要性が高い
- ② 内閣府の活動として「男女共同参画」が推進されているが柏市防災安全課の女性職員は数名であり「柏市地域防災計画」に女性目線が十分に反映されていないと推測される

上記のような課題を少しでも解決すべく、避難所運営委員会を横断的に活動する女性だけのグループを別団体として発足させ各避難所運営委員会へ提言出来るようにする
避難所運営委員会はその提言を受け討議し反映するよう努める

グループのイメージは、お茶飲みの延長として防災を考えてみる様なアットホームな会とする
発足準備期間は4～5名でスタート
発足準備期間の座長は防犯防災部の副部長が務め運営方法などを決める
発足時は回覧にて原則増尾・新柏地域に在住する女性を公募形式で募る

年3回程度のアットホームな会を行い参加しやすい環境とする
コアな人はある程度固定されると思うが参加する他のメンバーはアメンバーの様な流動性を持たせ増えたり減ったりして拡張させて行く
1回限りの参加も可能とし子育て世代、若年層世代も参加しやすくする
当面の財源は、ふるさと協議会防犯防災部が支援し、育てば柏市の登録団体にして活動を継続する

以上